

# 平成25年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	インターカレッジ・コンペティション<学生による地域活性化企画コンペ>	事業経緯	継 続	実施体制	後 援	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	表彰、コンクール	

## 1. 事業目的

富山県立山町の産業振興や地域活性化、地域ブランド構築などの分野で、全国の大学生による地域おこし事業のアイデアを競うもので、学生に対し資向上に適う実学の間を提供する一方、斬新な発想と理論に裏付けされたアイデアを町の活性化につなげることを目的とする。

## 2. 事業実施体制

主 催：立山町  
後 援：一般社団法人 北陸地域づくり協会  
協 力：立山町観光協会、(株)共同通信社

## 3. 事業実施概要

### 1. スケジュール

- ・5月：参加大学の募集
- ・6月～7月：概要説明会(大学にて町の現状及び課題について説明)
- ・8月～9月：立山町にてフィールドワーク(町担当課及び町内事業所ヒアリング)
- ・11月：レポート提出
- ・12月1日～2日：プレゼンテーション(予選17ゼミ・本選7ゼミ)～表彰式

### 2. 研究テーマ

- ① 産業振興：農業の担い手育成 等
- ② 観光振興：観光まちづくり推進、観光アクションプランの策定 等
- ③ 地域ブランド構築：農産物のブランド構築サポート、定住人口増を目指す「住んでみたい価値」構築 等

### 3. 募集要項

参加資格：大学もしくは専門学校が主催するゼミ生であること  
参加条件：ゼミ単位で申し込むこと(同一ゼミで複数の応募不可)

### 4. 審査方法

- ・フィールドワーク終了後にレポートを提出(A4版10枚程度)
- ・事前審査及び当日審査の合計点で順位を決定

#### 【審査員】

立山町町長、総務省、農水省北陸農政局、共同通信社、(株)北陸銀行、(株)たてやま 計6名

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

学生によるフィールドワークを通じ、町民と学生がふれあい、交流することによって、町民のまちづくりに対する意識が高まり、町民が主体的に地域振興に携わる機運が醸成された。また、地域経済・福祉・観光・公共交通など様々な観点からの新しい発想による提案が多く、町の地域振興のヒントとなったことや、県外の若者の目線から見た立山町の見え方について改めて認識することができ、今後の地域活性化を推進する手段として参考とすることができた。

最優秀提案者となった山口大学藤田ゼミの提案の一部について、次年度に実証実験を行うこととしており、このことが官学連携した実現性のある地域貢献として、新しい事業展開の可能性に期待が持てるものとなった。



町長へのヒアリング



フィールドワーク

プレゼンテーション



実証実験(H24年度最優秀提案)

